

# ODP

Vol. 035

# DESIGN SEMINAR

報 告 書

## 消費者の心に届く 商品ブランディングとは

講師／舟ヶ崎 修一 氏 (株式会社アートデザインセンター エグゼクティブプランナー)



◆参加者：59名

### 【コメント】

- ・具体的な企画デザインワークの解説紹介は非常に勉強になりました。いいクライアントとの出会い（良い出会いにする。講師の人柄に敬服）が大切であると思いました。
- ・私は、クライアント側として拝聴させて頂きました。様々な興味深い話ありがとうございました。今からブランドを創り上げていく上で突破すべき点とそれにとまなう行動、考え方が「ふにおちた」感じがしました。本当にありがとうございました。
- ・例にそって1つ1つ説明していただいたので非常にわかりやすく感じ、退屈せずに聞くことができました。
- ・授業の中での課題が社会でいかに通用しないのかが分かりました。課題では自分の好きなようにクライアントを設定することが出来ますし、社会的に特に大きな問題も起きません。自分の課題に大変リアリティを持ってました。個人で自由に制作していく課題なので、ストーリーをつくるのは今一番たのしく感じています。このキモチをこれからも大切にしていきます。
- ・私は、現在学生でグラフィックデザインを学んでいます。実習課題でスイーツブランドのブランディング制作を行っており、ちょうどパッケージについて考えているところなので、「商品を引き立てるのでパッケージの役目」と仰っていたことが時に印象に残りました。
- ・期待以上に充実した内容だった。現在、顧客の食堂運営について提案を考えており、とても参考になった。普段、見積もり金額ばかり注視し悶々とした毎日を送っていたが、熱量をもって顧客にぶつかっていきたいと思えました。今日が小さな転機となった気がします。多くの人とコラボしてよりおもしろいものを創り出せればと思います。ありがとうございました。感謝です。
- ・「モノ」ではなく「体験・感動」を伝えるという点が大変共感できる部分でした。小手先のデザイン・消費者（受け取る側）を無視したデザインに疑問を覚えることがありますが、「マ・ル・ク・ロ」はコンセプトからストーリーまで一堂した流れが整理されているため、スッと心に入ってきました。